

法学部が求める学生像

「入学してから卒業するまで、どの学年でもゼミ(演習)が取れる」

法学部が最も誇りとする教育面の特色は、

充実した少人数教育の環境を提供していることです。

しかし、環境が充実していればそれだけで充分、とはいえません。

ゼミの成否は、そこに参加する学生が

どれだけ積極的な態度を示すかに大きくかかっているからです。

ゼミに旺盛な意欲で参加し、ゼミを引っ張る学生——

法学部がAOマルデス入試で求めているのはそうした学生です。

ゼミを引っ張る
学生には
次のような
資質が
求められます。

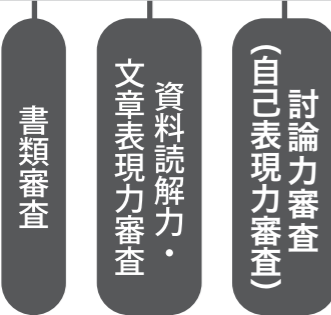
1 「コミュニケーション能力」に富んでいること。

社会のできごと全般に幅広い関心を持ち、自分の意見を論理立てて他者に伝え、他者の意見にも誠実に耳を傾ける力、つまり**他者と関心を共有しつつ、自分の意見を明確にしていく能力**に富んでいることです。単に調整能力に富み、ゼミのまとめ役になる学生を望んでいるわけではありません。

2 コミュニケーション能力に先立って、それを深いところから支える「強い個性」があること。

他者に伝えるに足る個性、他者が学ぶに足る個性をもった者どうしが集まってこそ、コミュニケーションが、また、ゼミが豊かに花開くから、という理由によるものです。そうなったとき、ゼミはまるで場面に応じて誰もが次々に主役を演じるドラマの舞台のようになるはずです。

コミュニケーション能力



強い個性

これらの資質は、各種の審査を通じて多角的に評価されます。具体的には、**書類審査、資料読解力・文章表現力審査、討論力審査**(社会人特別受験・外国人特別受験の場合は**自己表現力審査**)の3種類の審査によって、「コミュニケーション能力」とそれを支える「強い個性」を評価します。

法学部AOマルデス入試は、「強い個性」とそれに裏打ちされた「**コミュニケーション能力**」に富む学生を期待します。

審査

[法学部]一次審査

全員共通

審査	内容
書類審査	調査書、志望理由書、活動報告書、学修課題発見レポート、その他、すべての提出書類に基づいて総合的に審査します。自由提出された資料も審査の対象とします。

書類は特に指定がない限り、黒インクまたは黒のボールペンで記入してください。

[法学部]二次審査……11月16日(土)

※集合時間・場所等は、一次審査合格発表時に郵送でお知らせします。

一般・帰国生

審査	配点	内容
資料読解力・文章表現力審査	50	[10:00-11:30 試験時間90分] 文章を正確に読み取り理解する力と、自分の考えを魅力的な文章にまとめる思考力と文章表現力が問われます。
討論力審査	50	6月7日(金)に発表されるテーマ(下記を参照)について、5~7名程度でグループ討論を行い、各受験者の参加姿勢や発言内容に基づいて審査します。審査は約60分間の討論です。

下書き用の用紙も配付しますので、まずは書くべき内容と構成について、じっくりと構想を練ってから書き始めてください。

テーマの発表方法

公開日時:2019年6月7日(金)13:00から

公開場所:成蹊大学入試情報サイトS-NET (<https://www.seikei.ac.jp/university/s-net/>)

※ホームページで確認できない方は、成蹊大学入試センターまでお問い合わせください。

社会人・外国人

審査	配点	内容
資料読解力・文章表現力審査	50	[10:00-11:30 試験時間90分] 文章を正確に読み取り理解する力と、自分の考えを魅力的な文章にまとめる思考力と文章表現力が問われます。
自己表現力審査	50	提出された書類の内容に基づき、個人面接形式で審査します。審査は約15分間です。最初の3分間で自己アピールを行ってください。

二次審査にあたっての注意

資料読解力・文章表現力審査

- ①受験生は試験開始30分前までに試験場に入り、着席してください。
- ②試験開始後20分以降の試験場への入場は、特別の事情がない限り認められません。
- ③受験票は常に携帯してください。
- ④机の上に置くことができる物は、「受験票」「黒鉛筆(HB)」「シャープペンシル(HB黒芯)」「プラスチック消しゴム」「鉛筆削り(電動式は不可)」「時計(計時機能だけのもの)」「眼鏡」「ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)」「無地のハンカチ」「目薬」のみです。
- ⑤耳栓の使用は認められません。
- ⑥受験に際して、不正行為をしたとみなされた場合は、選考対象から除外されますので、このような行為はしないように注意してください。

討論力審査

- ①準備したメモや資料は会場に持ち込んで構いません。
- ②資料を配布する場合は、審査員の分も含めて12部用意してください。
- ③電子辞書、PC、携帯電話等の電子機器も会場に持ち込んで構いません。ただし、電源、機器類、通信環境等はここでは用意できません。
- ④審査中、携帯電話等でウェブサイトを閲覧しても構いません。ただし、通話、メール、ソーシャルメディア等で他者へ質問したり、試験会場外の人間と連絡をとる手段として機器を使用したりすることは禁止とします。